

○小児歯科学：534-4-DP4・DP5

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	*清水 武彦 (小児歯科学)

学修目標 (G I O) と単位数	<p>・単位数：3</p> <p>・学修目標 (G I O)：小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、その対象は成長発育の過程にある乳児から20歳前までと広いことから多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。心身の成長と顎顔面、歯、口腔軟組織の発育ならびに咀嚼、咬合の発達を形態、構造、機能の面から正常と異常また疾患を対比し、治療を中心とした臨床実習へ進むために基本的な知識、技能、態度を修得する。</p>
担当教員	<p>*清水 武彦、*清水 邦彦、*岡本 京、*小川 奈保、*根本 晴子、*赤羽 康彦、*生田 剛史、*生田 哲、*井上 雄温、*植松 晃樹、*白井 朗、*太田 宅哉、*岡本 和久、*岡本 春憲、*小川 恭央、*倉田 康弘、*倉持 治彦、*栗田 朋治、*小林 亮介、*小宮 城治、*清水 久美子、*高澤 竜一郎、*田中 眞理、*谷 博司、*寺田 英史、*中村 佐和子、*中村 均、*西川 康博、*原 昌伸、*平井 則光、*松村 東栄、*丸山 進一郎、*三好 克実、*山崎 優、*横屋 知恵子、*吉田 明弘、*秋鹿 ゆい、*岡田 裕莉恵、*木口 友里、*木村 奈緒、*田中 啓慎、*山口 茜、*萩原 和典</p>
教科書	<p>小児の口腔科学 第5版 朝田芳信, 大須賀直人, 尾崎正雄, 清水武彦, 仲野和彦, 早崎治明, 福田理, 星野倫範, 牧憲司, 森川和政 学建書院</p> <p>小児歯科学基礎・臨床実習 第2版 前田隆秀, 福田理, 白川哲夫, 牧憲司 医歯薬出版株式会社</p>
実習器材	<p>小児顎模型、石膏歯牙模型、ワックス棒、スチールバー、カーバイドバー、金冠バサミ、乳歯冠、印象材、コバルトクロム線、ラバーダムシート他</p>
評価方法 (E V)	<p>前期講義：前期期間最終日(8月30日)に行う平常試験(90%)と講義態度(主に出欠状況10%)によって評価する。</p> <p>平常試験の結果に応じて、補講を行うことがある。前期平常試験の再試験は行わない。</p> <p>後期実習：実習評価(40%)、小テスト(30%)、平常試験(20%)と実習態度(主に出欠状況10%)によって評価する。</p> <p>後期平常試験の再試験は行わない。</p> <p>平常試験のやむを得ない理由による欠席は、追試験の実施を考慮する(理由を証明するに足りる詳細な書類、病欠の場合は診断書が必要となる)が、評価は80点未満となる。</p> <p>最終評価は、前期50%、後期50%の割合とする。</p> <p>正当な理由なく、授業時間数の1/5以上欠席した場合、成績評価は0~60点とする(60点を超す場合であっても60点とする)。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>講義、実習に関してわからないことがあれば清水武彦か、小児歯科の教員にいつでも質問してください。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/05 (金) 1時限 09:00~10:30	<p>小児歯科学の定義、目的と特異性 小児の発育 身体発育の特徴 精神的発達の特徴</p>	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を行えるようになるために、小児の心身の発育を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児歯科学の発生・変遷とその社会的背景を説明できる。 3. 小児歯科学の包括歯科医療について理解し、他科ならびに周辺医学領域の必要性を説明できる。 4. 発育の原則を述べ正常と異常を対比し理解し説明できる。 5. 乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 6. 精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書2章、小児の発育 (60分) 事後学修項目と時間：授業プリントの復習(30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢</p>	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/05 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科学の定義、目的と特異性 小児の発育 身体発育の特徴 精神的発達の特徴	イ 人体の発育 b 発育期の特徴 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) d 小児の生理的特徴 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長 ④小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。	*清水 武彦
2019/04/12 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の発育 身体発育の特徴 精神的発達の特徴 小児歯科生理的特徴	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を行えるようになるために、小児の心身の発育を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 3. 精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。 4. 小児の体温の変移、血圧、脈波、血液成分等の生理的特徴が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書2章、小児の心身の発育 (60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 b 発育期の特徴 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) d 小児の生理的特徴 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長 ④小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。	*清水 武彦
2019/04/19 (金) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顎顔面の発育とその評価法 口腔機能の発達 歯列・咬合の発育	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、頭蓋顎顔面・歯列咬合の発育を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 3. 顔面頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 4. 無歯期から永久歯列に至る歯列咬合の発育変化を理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書3章頭蓋顎顔面・歯列咬合の発育 (60分) 事後学修項目と時間：上記内容に関する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列の発育 (発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齡) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 b 上顎骨・下顎骨の成長の特徴 (成長の時期、骨形成様式) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/19 (金) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顎顔面の発育とその評価法 口腔機能の発達 歯列・咬合の発育	E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口腔領域の構造と機能 ④歯列と咬合を説明できる。 E-2-3) 口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化 ②口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。 ③口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる。	*清水 武彦
2019/04/26 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、歯の形態、発育と異常を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の発育過程と発育段階とその評価法を理解し説明できる。 3. 歯の発育時期と形成障害とその理由を理解し説明できる。 4. 幼若永久歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書4章、乳歯、幼若永久歯の特徴 (60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 d 歯の萌出 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 a 初期発生 b 歯の硬組織形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。 ④歯 (乳歯、根末完成歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦
2019/05/10 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、歯の形態、発育と異常を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯の発育時期と形成障害とその理由を理解し説明できる。 3. 歯数、形態、構造、色調の異常を理解し説明できる。 4. 幼若永久歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書4章、歯の発育と異常を読む (60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 d 歯の萌出 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 イ 歯・歯周組織の形成と歯の萌出 a 初期発生	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/10 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯、幼若永久歯の特徴 歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	b 歯の硬組織形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。 ④歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。	*清水 武彦
2019/05/17 (金) 1時限 09:00～10:30	小児への歯科的対応	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児への歯科的対応を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児への歯科的対応が説明できる。 3. 歯科診療を行うにあたって知っておくべき小児の心理を理解し説明できる。 4. 年齢別にみた歯科的対応を理解し説明できる。 5. 診療内容からみた歯科的対応を述べ、成人の対応と異なることを理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書8章小児の臨床における対応を読む(60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習(30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 1 治療の基礎 ウ ライフステージ別の治療 a 小児の治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 診察 2 小児への対応 ア 身体的特徴 イ 心理社会的特徴 ウ 診察の基本 エ 年齢に応じた対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑩小児患者の対応を説明できる。	*清水 武彦
2019/05/24 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕 小児の齲蝕予防	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の齲蝕と予防を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児齲蝕の年次推移を説明できる。 3. 乳歯齲蝕の特徴を説明できる。 4. 幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。 5. フッ化物の応用法とその効果を理解し説明できる。 6. シーラントの効果、術式、注意点をあげ、理解し説明できる。 7. 小児のブラッシング指導について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書9章、齲蝕と予防を読む(60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習(30%) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織疾患 c 齲蝕のリスクファクター 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/24 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕 小児の齲蝕予防	<p>1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理 d フッ化物応用 e 食生活指導 f 口腔清掃指導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ①乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。</p>	*清水 武彦
2019/05/31 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯冠修復 小児の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯内療法および歯冠修復を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。 3. 乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。 4. 乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。 5. 乳歯の根管治療が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書10章、齲蝕治療を読む (60分) 事後学修項目と時間：上記内容について授業プリントの復習 (30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 b 幼若永久歯齲蝕 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 乳歯の歯髄疾患と治療 b 乳歯の根尖性歯周疾患と治療 c 幼若永久歯の歯髄疾患と治療 d 幼若永久歯の根尖性歯周疾患と治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ②乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。 ④乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。 ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。</p>	*清水 武彦
2019/06/07 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯周疾患 小児の歯肉炎と歯周炎	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯周疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児の歯周組織の健康状態が認識できて説明できる。 3. 不潔性歯肉炎が説明できる。 4. 思春期前歯周炎が説明できる。 5. 小児の侵襲性歯周炎が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目：教科書11章、歯周疾患を読む (60分) 事後学修項目：上記内容に対する講義プリントの復習 (30分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p>	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/07 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯周疾患 小児の歯肉炎と歯周炎	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑥小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。</p>	*清水 武彦
2019/06/14 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の抜歯 小児期の外科処置 小児の局所麻酔	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の外科処置を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳歯の抜歯時の注意点が説明できる。 3. 小児薬用量の算出法を理解し説明できる。 4. 小児期における無痛の局所麻酔の操作法が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書13章、外科的処置を読む（60分） 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習（30分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 2 歯の異常 ア 数の異常 a 過剰歯</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 ア 歯の疾患 a 歯牙腫 b 異所萌出 c 埋伏歯 d 低位乳歯 e 早期萌出乳歯 f 萌出遅延</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。</p>	*清水 武彦
2019/06/21 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷	<p>【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の歯の外傷を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 乳歯、永久歯の外傷の特徴が説明できる。 3. 乳歯外傷が永久歯に及ぼす影響が説明できる。 4. 乳歯・永久歯の歯冠、歯根破折の処置が説明できる。 5. 乳歯・永久歯の脱臼に対する処置が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書14章、歯の外傷と処置を読む（60分） 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習（30分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態</p>	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/21 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久 歯の外傷	4 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯 の外傷の処置と経過 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 イ 診察と診断、治療 方針 a スポーツによる歯の外傷の予防 b 児童虐待と歯の外傷 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。	*清水 武彦
2019/06/28 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合誘導	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児期の咬合誘導を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 永久歯列期の歯列長分析が理解できる。 3. 咬合誘導の理念が理解して説明できる。 4. 咬合誘導の症例をとおしてその適応と術式を説明できる。 5. 保隙装置の適応を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書 15章、咬合誘導を読む (60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙 (静的咬合誘導) a 保隙装置の分類 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙 (静的咬合誘導) b 保隙装置の適応症 c 保隙装置の製作法 ウ 動的咬合誘導 エ 口腔習癖とその対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。 ⑨保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。	*清水 武彦
2019/07/05 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合誘導 小児歯科治療時に 留意すべき小児疾 患	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、咬合誘導、歯科治療時に留意すべき小児疾患と児童虐待の徴候と対応について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 動的咬合誘導について説明できる。 2. 先天性心疾患を有する小児の歯科治療を理解する。 3. 出血傾向を有する患児の解説と観血処置時の注意を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書 19章治療時に留意すべき小児疾患を読む (60分) 事前学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/05 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合誘導 小児歯科治療時に 留意すべき小児疾 患	ウ 動的咬合誘導 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 エ 口腔習癖とその対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑫口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明できる。 ⑪小児の虐待の徴候と対応を説明できる。	*清水 武彦
2019/07/12 (金) 1時限 09:00～10:30	小児歯科と遺伝性 疾患 小児の口腔奇形と 先天奇形症候群	【授業の一般目標】 小児の歯科治療を理解するために、小児の遺伝性疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 遺伝性疾患の成因を説明できる。 3. 頭蓋顎顔面の形成異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明 できる。 4. 歯の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察しせつめいできる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書 19 章、治療時に留意すべき小児疾患、先天異常、 染色体異常を読む (60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室、第 4 実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる) h 象牙質形成不全症 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常 イ 遺伝性疾患(主に口腔に症状がみられる) a Beckwith-Wiedemann症候群<EMG症候群> c Papillon-Lefevre症候群 d エナメル質形成不全(症) e 骨形成不全症 f 先天性表皮水泡症 g 先天性外胚葉形成不全<先天性 外胚葉異形成症> j 低フォスファターゼ症 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常及び後天異常 ①口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。	*清水 武彦
2019/07/19 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾 患 児童虐待	【授業の一般目標】 小児の歯科治療ができるようになるために、小児の口腔粘膜疾患と児童虐待に ついて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 小児期の粘膜疾患の病態を説明できる。 3. 小児の口腔粘膜疾患の対応法が説明できる。 4. 児童虐待の現状と通告について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：教科書 12 章、口腔軟組織の疾患、16 章口腔保健と医 療連携を読む (60分) 事後学修項目と時間：上記内容に対する授業プリントの復習 (30分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学修媒体：スライド、プリント配布 アクティブラーニングなし。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室、第 4 実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 2 ライフステージ別にみた保健・福祉の制度	*清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/19 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の口腔粘膜疾患 児童虐待	ア 母子保健、母子歯科保健と児童福祉 g 児童虐待への対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 イ 口腔軟組織の疾患 c 萌出嚢胞 d 歯肉嚢胞 g 粘液嚢胞 i Riga-Fede病 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。 ⑩小児の虐待の徴候と対応を説明できる。	*清水 武彦
2019/08/30 (金) 1時限 09:00～10:30	平常試験・解説講義	【授業の一般目標】 前期講義の内容を総復習し、理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 前期講義の内容を総復習し、理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学修項目と時間：前期講義の内容の総復習（6時間） 事前学修項目と時間：前期講義の内容の総復習（3時間） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし。 筆記、MCQ試験。 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【コアカリキュラム】	*清水 武彦
2019/09/13 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯の解剖学的特徴 (1)	【授業の一般目標】 乳歯の形態について説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳歯の解剖学的形態の特徴を説明できる。 3. 先行乳歯と後継永久歯との違いを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯の形態について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。	*清水 邦彦
2019/09/13 (金) 2時限	ガイダンス 器具配布	【授業の一般目標】 下顎右側第一乳歯の形態について説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 3. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：下顎右側第一乳臼歯の形態について 準備学修時間：30分 事後学修項目：小児歯科実習で使用する器具について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有 (実習のため) 学修媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	<p>* 岡本 京 * 根本 晴子 * 小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 亮 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 栗田 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 * 岡田 裕莉恵 * 山口 茜 * 田中 啓慎 * 秋鹿 ゆい * 木口 友里 * 木村 奈緒</p>
2019/09/13 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 3. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：下顎右側第一乳臼歯の形態について 準備学修時間：30分 事後学修項目：下顎右側第一乳臼歯の形態について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有 (実習のため) 学修媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	<p>* 清水 武彦 * 清水 邦彦 * 岡本 京 * 根本 晴子 * 小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 亮 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 栗田 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 * 岡田 裕莉恵 * 山口 茜 * 田中 啓慎 * 秋鹿 ゆい * 木口 友里 * 木村 奈緒</p>
2019/09/20 (金) 1時限 09:00~10:30	乳歯の解剖学的特徴 (1)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>乳歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳歯の解剖学的形態の特徴を説明できる。 3. 先行乳歯と後継永久歯との違いを説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：乳歯の形態について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習</p>	<p>* 清水 邦彦</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/20 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯の解剖学的特徴 (1)	<p>事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ④歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。</p>	*清水 邦彦
2019/09/20 (金) 2時限 10:40～12:10	ガイダンス 器具配布 ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 3. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：下顎右側第一乳臼歯の形態について 準備学修時間：30分 事後学修項目：下顎右側第一乳臼歯の形態について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/09/20 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 下顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 下顎右側第一乳臼歯の形態を説明できる。 3. 下顎右側第一乳臼歯のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：下顎右側第一乳臼歯の形態について 準備学修時間：30分 事後学修項目：下顎右側第一乳臼歯の形態について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/20 (金) 3時限 13:10~14:40	ワックスカービング (下顎右側第一乳臼歯)	<p>参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/09/27 (金) 1時限 09:00~10:30	乳臼歯の歯冠修復 (1)	<p>【授業の一般目標】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳歯の歯冠修復の種類を説明できる。 3. 乳歯の歯冠修復の適応症を説明できる。 4. 乳歯の歯冠修復の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯の歯冠修復について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ②乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。</p>	*小川 奈保
2019/09/27 (金) 2時限 10:40~12:10	ワックスカービング (下顎右側第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 下顎右側第二乳臼歯の形態について説明できる。 3. 下顎右側第二乳臼歯の歯冠および歯根 (一部) のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：下顎右側第二乳臼歯の形態について 準備学修時間：30分 事後学修項目：下顎右側第二乳臼歯の形態について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久憲 岡本 春 小川 恭央 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/27 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスカービング (下顎右側第二乳臼歯)	<p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/09/27 (金) 3時限 13:10～14:40	ワックスカービング (上顎右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 上顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 上顎右側第一乳臼歯の形態について説明できる。 3. 上顎右側第一乳臼歯の歯冠および歯根 (一部)のワックス彫刻ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：上顎右側第一乳臼歯の形態について 準備学修時間：30分 事後学修項目：上顎右側第一乳臼歯の形態について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学修媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 b 乳歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/10/11 (金) 1時限 09:00～10:30	乳臼歯の窩洞形成 (下顎)	<p>【授業の一般目標】 乳歯齲蝕の窩洞形成について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳臼歯の窩洞形成時の留意事項を説明できる。 3. 乳臼歯のMO窩洞を説明できる。 4. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 5. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 6. 乳臼歯2倍歯模型に窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯の形態的特徴について 準備学修時間：30分 事後学修項目：乳歯の形態的特徴と窩洞形成について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学修媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/11 (金) 1時限 09:00~10:30	乳臼歯の窩洞形成 (下顎)	E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ②乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。	*山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/10/11 (金) 2時限 10:40~12:10	乳臼歯の窩洞形成 (上顎)	【授業の一般目標】 乳歯齲蝕の窩洞形成について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳臼歯の窩洞形成時の留意事項を説明できる。 3. 乳臼歯のMO窩洞を説明できる。 4. 乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 5. 乳臼歯のO窩洞を説明できる。 6. 乳臼歯2倍歯模型に窩洞形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯の形態的特徴について 準備学修時間：30分 事後学修項目：乳歯の形態的特徴と窩洞形成について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学修媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ②乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/10/11 (金) 3時限 13:10~14:40	小児の口腔粘膜疾患 振替日11月30日 (土) 1時限目	【授業の一般目標】 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の口腔粘膜疾患について説明できる。 2. 小児の口腔粘膜疾患の治療法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の口腔粘膜疾患について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 イ 口腔軟組織の疾患 f 小帯異常 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 3 口腔・顎顔面の疾患 イ 口腔軟組織の疾患 a 口角びらん c 萌出嚢胞 d 歯肉嚢胞 e Bednarアフタ g 粘液嚢胞 h 巨舌症、小舌症 i Riga-Fede病 【コアカリキュラム】	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/11 (金) 3時限 13:10~14:40	小児の口腔粘膜疾患 振替日11月30日 (土) 1時限目	E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 憲央 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/10/18 (金) 1時限 09:00~10:30	小児への歯科的対応法	【授業の一般目標】 小児への歯科的対応法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯科診療に必要な小児の心理を理解し説明できる。 3. 年齢別に見た歯科的対応を理解し説明できる。 4. 非協力児の対応法を理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児への歯科的対応法について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 診察 2 小児への対応 エ 年齢に応じた対応 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 診察 2 小児への対応 ア 身体的特徴 イ 心理社会的特徴 ウ 診察の基本 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑩小児患者の対応を説明できる。	*清水 邦彦
2019/10/18 (金) 2時限 10:40~12:10	ラバーダム防湿 コンポジットレジン 修復 (下顎右側 第一、第二乳臼歯)	【授業の一般目標】 小児診療時のポジショニングを理解する。 乳歯を対象としたラバーダム防湿法を説明できる。 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる 【行動目標 (SBOs)】	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/18 (金) 2時限 10:40~12:10	ラバーダム防湿 コンポジットレジン 修復 (下顎右側 第一、第二乳臼歯)	<p>1.人工歯に窩洞形成ができる。 2.診療に適したポジショニングを説明できる。 3.乳歯にラバーダム防湿を施術できる。 4.乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 5.乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 6.乳臼歯のO窩洞を説明できる。 7.人工歯にコンポジットレジン充填ができる。 8.臨床経験に基づき以下の項目を教授する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳臼歯のコンポジットレジン修復について 準備学修時間：30分 事後学修項目：乳臼歯のコンポジットレジン修復について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ②乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。</p>	<p>生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒</p>
2019/10/18 (金) 3時限 13:10~14:40	ラバーダム防湿 コンポジットレジン 修復 (上顎右側 第一、第二乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 小児診療時のポジショニングを理解する。 乳歯を対象としたラバーダム防湿法を説明できる。 乳臼歯のコンポジットレジン修復を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2.診療に適したポジショニングを説明できる。 3.乳歯にラバーダム防湿を施術できる。 4.乳臼歯のM0窩洞を説明できる。 5.乳臼歯のOD窩洞を説明できる。 6.乳臼歯のO窩洞を説明できる。 7.人工歯に窩洞形成ができる。 8.人工歯にコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳臼歯のコンポジットレジン修復について 準備学修時間：30分 事後学修項目：乳臼歯のコンポジットレジン修復について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ②乳歯と幼若永久歯の齲蝕の診察、検査と診断を説明できる。 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。</p>	<p>*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒</p>
2019/10/25 (金) 1時限 09:00~10:30	乳歯・幼若永久歯 の歯内療法 1) 間接覆髄法 2) 直接覆髄法 3) 歯髄切断法	<p>【授業の一般目標】 乳歯および幼若永久歯の歯内療法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2.間接・直接覆髄法の適応症とその術式を理解し説明できる。</p>	<p>*小川 奈保</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/25 (金) 1時限 09:00～10:30	乳歯・幼若永久歯の歯内療法 1) 間接覆髄法 2) 直接覆髄法 3) 歯髄切断法	3. 歯髄切断法の種類、適応症、病理組織学的変化、術式を理解し説明できる 4. 覆髄法、特に暫間的間接覆髄法の適応症と術式を理解し説明できる。 5. 抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 6. 抜髄法ならびに根管充填法の根完成歯との相違点を理解し説明できる。 7. Apexogenesis と Apexification の術式と治癒過程を理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯および幼若永久歯の歯内療法について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 乳歯の歯髄疾患と治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 b 乳歯の根尖性歯周疾患と治療 c 幼若永久歯の歯髄疾患と治療 d 幼若永久歯の根尖性歯周疾患と治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ④乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。 ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。	*小川 奈保
2019/10/25 (金) 2時限 10:40～12:10	水酸化カルシウム法による歯髄切断法（下顎左側第二乳臼歯）	【授業の一般目標】 歯髄切断（断髄）法の術式について説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 水酸化カルシウム法による歯髄切断法の術式ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯髄切断法の術式について 準備学修時間：30分 事後学修項目：歯髄切断法の術式について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患 a 乳歯の歯髄疾患と治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ④乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。 ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克夫 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/10/25 (金) 3時限 13:10～14:40	乳歯用冠支歯形成（下顎左側第二乳臼歯）	【授業の一般目標】 乳歯用冠の支歯形成の術式について説明できる。 【行動目標（SBOs）】	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/25 (金) 3時限 13:10~14:40	乳歯用冠支台歯形成(下顎左側第二乳臼歯)	<p>1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 既製乳歯用冠の形成法の術式ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯用冠の支台歯形成の術式について 準備学修時間：30分 事後学修項目：乳歯用冠の支台歯形成について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有(実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。</p>	<p>*小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒</p>
2019/11/01 (金) 1時限 09:00~10:30	乳臼歯の歯冠修復(2)	<p>【授業の一般目標】 乳歯の歯冠修復について説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳歯の歯冠修復について説明できる。 3. クラウンフォームの適応と術式について理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯の歯冠修復について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。</p>	<p>*小川 奈保</p>
2019/11/01 (金) 2時限 10:40~12:10	乳歯用冠(下顎左側第二乳臼歯) 1)乳歯用冠の試適 2)取り込み印象	<p>【授業の一般目標】 乳歯用冠の支台歯形成の術式について説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳歯用冠の試適ができる。 3. 乳歯用冠の調整ができる。 4. クラウンループ作成のための取り込み印象ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯用冠の支台歯形成の術式について 準備学修時間：30分 事後学修項目：乳歯冠試適と取り込み印象について 事後学修時間：30分</p>	<p>*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/01 (金) 2時限 10:40~12:10	乳歯用冠 (下顎左側第二乳臼歯) 1) 乳歯用冠の試適 2) 取り込み印象	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 a 乳歯齲蝕</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 3 クラウンブリッジによる治療 イ 臨床操作 b 支台歯形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 ③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。 ④支台歯形成の意義と方法を説明できる。 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。</p>	小川 恭央 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/01 (金) 3時限 13:10~14:40	クラウンループの屈曲	<p>【授業の一般目標】 クラウンループ保険装置について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 作業模型の調整ができる。 3. クラウンループの外形線の設定ができる。 4. クラウンループの屈曲ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保険装置について 準備学修時間：30分 事後学修項目：クラウンループについて 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保険 (静的咬合誘導) c 保険装置の製作法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑨保険処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保険装置の設計について説明できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/08 (金) 1時限 09:00~10:30	保険	<p>【授業の一般目標】 保険装置について説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 保険の必要性について説明できる。 3. クラウンループについて説明できる。 4. バンドループについて説明できる。 5. デイスタルシューについて説明できる。 6. ナンスのホールディングアーチについて説明できる。 7. リンガルアーチ保険装置について説明できる 8. 小児義歯について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*根本 晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/08 (金) 1時限 09:00～10:30	保隙	<p>準備学修項目：保隙装置について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙（静的咬合誘導） a 保隙装置の分類</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙（静的咬合誘導） b 保隙装置の適応症 c 保隙装置の製作法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑨保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。</p>	*根本 晴子
2019/11/08 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンループの作成	<p>【授業の一般目標】 クラウンループ保隙装置について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. クラウンループの屈曲ができる。 3. クラウンループの鑑着ができる。 4. クラウンループの研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保隙装置について 準備学修時間：30分 事後学修項目：クラウンループについて 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙（静的咬合誘導） c 保隙装置の製作法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑨保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/08 (金) 3時限 13:10～14:40	クラウンループの作成	<p>【授業の一般目標】 クラウンループ保隙装置について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. クラウンループの鑑着ができる。 3. クラウンループの研磨ができる。 4. クラウンループの装着ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保隙装置について 準備学修時間：30分 事後学修項目：クラウンループの管理について 事後学修時間：30分</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/08 (金) 3時限 13:10~14:40	クラウンループの作成	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論1 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保隙（静的咬合誘導） c 保隙装置の製作法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑨保隙処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保隙装置の設計について説明できる。</p>	小川 恭央 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/15 (金) 1時限 09:00~10:30	動的咬合誘導(1) 歯列周長分析	<p>【授業の一般目標】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 歯列周長分析(小野の分析法とMoyersの分析法)を理解し説明できる。 3. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯列周長分析について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論1 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論1 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 エ 口腔習癖とその対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	*根本 晴子
2019/11/15 (金) 2時限 10:40~12:10	歯列周長の分析	<p>【授業の一般目標】 歯列周長分析について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 小野の分析法によって実習症例の歯列周長分析ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯列周長分析について 準備学修時間：30分 事後学修項目：歯列周長分析について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 晃朗 太田 宅哉 和久 春憲 岡本 和憲 小川 恭央 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/15 (金) 2時限 10:40~12:10	歯列周長の分析	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 e 歯列・咬合検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の診断 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/15 (金) 3時限 13:10~14:40	アダムスのクラスプの屈曲(1) (上顎右側第一大臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムスのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2.アダムスのクラスプの特徴を説明できる。 3.乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：アダムスのクラスプの特徴について 準備学修時間：30分 事後学修項目：アダムスのクラスプの屈曲について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 温樹 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉持 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/22 (金) 1時限 09:00~10:30	動的咬合誘導(2)	<p>【授業の一般目標】 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2.乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：咬合誘導について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防</p>	*根本 晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/22 (金) 1時限 09:00～10:30	動的咬合誘導(2)	ウ 動的咬合誘導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-1) 不正咬合の治療 ⑤矯正装置の種類と特徴及び使用目的を説明できる。 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。 ⑫口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明できる。	*根本 晴子
2019/11/22 (金) 2時限 10:40～12:10	アダムのクラスプの屈曲(2) (上顎左右側第一乳臼歯)	【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 3. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：アダムのクラスプの特徴について 準備学修時間：30分 事後学修項目：アダムのクラスプの特徴について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/22 (金) 3時限 13:10～14:40	アダムのクラスプの屈曲(3) (上顎左右側第一乳臼歯)	【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 3. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：アダムのクラスプの特徴について 準備学修時間：30分 事後学修項目：アダムのクラスプの特徴について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/22 (金) 3時限 13:10~14:40	アダムのクラスプの屈曲(3) (上顎左右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 3. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：アダムのクラスプの特徴について 準備学修時間：30分 事後学修項目：アダムのクラスプの特徴について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	*木村 奈緒
2019/11/29 (金) 1時限 09:00~10:30	小児の歯周疾患	<p>【授業の一般目標】 小児の歯周疾患を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 小児の歯周組織の正常像を説明できる。 3. 小児の歯肉炎を説明できる。 4. 小児の歯周炎を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の歯周疾患について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 a 小児の歯肉病変・歯周炎の特徴</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑥小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。</p>	*清水 邦彦
2019/11/29 (金) 2時限 10:40~12:10	アダムのクラスプの屈曲(4) (上顎左右側第一乳臼歯)	<p>【授業の一般目標】 アダムのクラスプの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. アダムのクラスプの特徴を説明できる。 3. 乳歯列期および混合歯列期の動的咬合誘導の種類および適応症を理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/29 (金) 2時限 10:40～12:10	アダムのクラスの屈曲(4) (上顎左右側第一乳臼歯)	<p>準備学修項目：アダムのクラスプの特徴について 準備学修時間：30分 事後学修項目：アダムのクラスプの特徴について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/11/29 (金) 3時限 13:10～14:40	シャーミーのコイルスプリングの屈曲(1)	<p>【授業の一般目標】 シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 3. スペースリゲーターについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：動的咬合誘導について 準備学修時間：30分 事後学修項目：コイルスプリングの特徴について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/12/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児期の抜歯 1) 麻酔法 2) 乳歯の抜歯	<p>【授業の一般目標】 乳歯の抜歯について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 局所麻酔法の説明ができる。 3. 乳歯抜去の適応症を説明できる。 4. 乳歯抜去の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：乳歯の抜歯について 準備学修時間：1時間 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p>	*清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/06 (金) 1時限 09:00～10:30	小児期の抜歯 1) 麻酔法 2) 乳歯の抜歯	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 4 手術・周術期の管理、麻酔 ア 手術 f 抜歯、口腔の小手術</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-5) 小手術 ①抜歯の適応症と禁忌症 (相対的禁忌への対応及び小手術の適応症と禁忌を含む)を説明できる。</p>	*清水 邦彦
2019/12/06 (金) 2時限 10:40～12:10	シャーミーのコイルスプリングの屈曲(2)	<p>【授業の一般目標】 シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 3. スペースリゲーターについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：動的咬合誘導について 準備学修時間：30分 事後学修項目：動的咬合誘導について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学修媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/12/06 (金) 3時限 13:10～14:40	レジンによる床部作製(1)	<p>【授業の一般目標】 レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. シャーミーのコイルスプリングの屈曲ができる。 3. スペースリゲーターについて説明できる。 4. アダムスのクラスプとシャーミーのコイルスプリングを床の中へレジンを埋入できる。 5. レジン床の作製法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：レジン床の作製法について 準備学修時間：30分 事後学修項目：動的咬合誘導について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学修媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 成長発育に関連した疾患・病態</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/06 (金) 3時限 13:10～14:40	レジンによる床部作製(1)	5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。	丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/12/13 (金) 1時限 09:00～10:30	歯と歯列の発育	【授業の一般目標】 歯の発育について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳歯および永久歯の発生と歯列の成長を理解し説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯および歯列の発育について 準備学修時間：30分 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 a 歯・歯列の発育 (発育時期・萌出時期・順序、歯の脱落・交換時期、歯齢) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。	*清水 邦彦
2019/12/13 (金) 2時限 10:40～12:10	レジンによる床部作製(2)	【授業の一般目標】 レジン床の研磨ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. スペースリゲーターについて説明できる。 3. レジン床の作製法について説明できる。 4. レジン床の研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：レジン床の作製法について 準備学修時間：30分 事後学修項目：レジン床の研磨について 事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/12/13 (金) 3時限 13:10～14:40	シャーミーの装置の装着と第一大臼歯の遠心移動	【授業の一般目標】 シャーミーの装置の調製法について説明できる。	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	シャーミーの装置の装着と第一大臼歯の遠心移動	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. スペースリテーナーについて説明できる。 3. 装置の装着ができる。 4. 第一大臼歯の遠心移動ができる。 5. 歯の移動の後の対応法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：シャーミーの装置の調製法について 準備学修時間：30分 事後学修項目：動的咬合誘導後の保険について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：有 (実習のため) 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 ウ 動的咬合誘導</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑧咬合誘導の概念を説明できる。</p>	<p>*根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久憲 岡本 春 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克夫 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒</p>
2019/12/20 (金) 1時限 09:00~10:30	小児期の歯の外傷	<p>【授業の一般目標】</p> <p>小児期の外傷について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 乳歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 3. 永久歯外傷の好発年齢と部位を理解し説明できる。 4. 外傷の程度とその処置法を乳歯の外傷と比較しながら理解し説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：小児期の外傷について 準備学修時間：30分 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無し 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論 I 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 イ 診察と診断、治療 方針</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。</p>	<p>*清水 邦彦</p>
2019/12/20 (金) 2時限 10:40~12:10	外傷歯のワイヤー固定	<p>【授業の一般目標】</p> <p>小児期の外傷の治療法について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 亜脱臼歯の整復ができる。 3. 固定用ワイヤーの屈曲ができる。 4. 永久歯の外傷におけるワイヤー固定処置ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	<p>*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/20 (金) 2時限 10:40～12:10	外傷歯のワイヤー固定	<p>準備学修項目：小児期の外傷の治療法について 準備学修時間：30分 事後学修項目：小児期の外傷について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 ウ 乳歯・幼若永久歯の外傷の処置と経過</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 4 歯の外傷 イ 診察と診断、治療 方針</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。</p>	白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2019/12/20 (金) 3時限 13:10～14:40	後期平常試験	<p>【授業の一般目標】 小児歯科実習で行った内容について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 小児歯科実習で行った知識の確認を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児歯科実習で行った内容について 準備学修時間：5時間 事後学修項目：試験で未解答の項目 事後学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2020/01/17 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕予防(1)	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 3. フッ化物局所応用について説明できる。 4. 予防填塞について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児期の齲蝕予防について 準備学修時間：30分 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し</p>	*清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/17 (金) 1時限 09:00～10:30	小児の齲蝕予防(1)	<p>学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 d フッ化物応用 a 乳歯齲蝕 c 齲蝕のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ①乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療 ①フッ化物の歯面塗布を実施できる。 ②幼若永久歯の予防填塞を実施できる。 ③小児のブラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導を実施できる。</p>	*清水 邦彦
2020/01/17 (金) 2時限 10:40～12:10	小窩裂溝填塞法 フッ化物歯面塗布法	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 小児の齲蝕予防法を理解し説明できる。 3. フッ化物局所応用ができる。 4. 予防填塞ができる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児期の齲蝕予防について 準備学修時間：30分 事後学修項目：シーラントおよびフッ化物塗布の手順について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 イ 歯の硬組織疾患の予防・管理 a 齲蝕の予防・管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ①乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療 ①フッ化物の歯面塗布を実施できる。 ②幼若永久歯の予防填塞を実施できる。</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉 岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2020/01/17 (金) 3時限 13:10～14:40	保護者への保険装置の説明	<p>【授業の一般目標】 保護者への保険装置の説明ができる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 保険装置の必要性を説明できる。 3. 保険装置について説明できる。 4. 様々な媒体を用いて説明できる。 5. 患者や保護者の理解度を確認しながら説明できる。 6. 分かりやすい言葉使いと聞き取りやすい話し方ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 白井 朗 太田 宅哉

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/17 (金) 3時限 13:10~14:40	保護者への保険装置の説明	<p>準備学修項目：保険装置の種類と適応について 準備学修時間：30分 事後学修項目：保険装置説明の内容について 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 成長発育に関連した疾患・病態 5 歯列・咬合異常の予防 イ 保険（静的咬合誘導） b 保険装置の適応症</p> <p>【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療 ④模型および頭部エックス線規格写真等より、分析、診断、治療計画を立案できる。</p>	岡本 和久 岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 谷 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2020/01/24 (金) 1時限 09:00~10:30	小児のう蝕予防(2)	<p>【授業の一般目標】 齲蝕予防について説明できる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 小児の口腔衛生指導法を理解し説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：齲蝕予防について 準備学修時間：30分 事後学修項目：授業配布のプリントの復習 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 d 口腔清掃指導 f 生活習慣指導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑥小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療 ③小児のプラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導を実施できる。</p>	*清水 邦彦
2020/01/24 (金) 2時限 10:40~12:10	保護者へのブラッシング指導	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕予防、特に口腔衛生指導について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 小児の口腔衛生指導法を理解し説明できる。 3. 保護者へのブラッシング指導ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：齲蝕予防について 準備学修時間：30分 事後学修項目：ブラッシング指導の手順について 事後学修時間：30分</p>	*清水 武彦 *清水 邦彦 *岡本 京 *根本 晴子 *小川 奈保 赤羽 康彦 生田 剛史 生田 哲 井上 雄温 植松 晃樹 臼井 朗 太田 宅哉 岡本 和久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/24 (金) 2時限 10:40~12:10	保護者へのブラッ シング指導	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 エ 小児期にみられる歯周疾患 b 小児の歯肉病変・歯周炎への対応</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 イ 歯周疾患の予防・管理 a 歯肉炎の予防・管理 b 歯周炎の予防・管理 d 口腔清掃指導 f 生活習慣指導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ⑥小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-3 基本的臨床技能 F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療 ③小児のブラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導 を実施できる。</p>	岡本 春憲 小川 恭央 倉田 康弘 倉持 治彦 栗田 朋治 小林 亮介 小宮 城治 清水 久美子 高澤 竜一郎 田中 眞理 丸 博司 寺田 英史 中村 佐和子 中村 均 西川 康博 萩原 和典 原 昌伸 平井 則光 松村 東栄 丸山 進一郎 三好 克実 山崎 優 横屋 知恵子 吉田 明弘 *岡田 裕莉恵 *山口 茜 *田中 啓慎 *秋鹿 ゆい *木口 友里 *木村 奈緒
2020/01/24 (金) 3時限 13:10~14:40	後期平常試験解説	<p>【授業の一般目標】 実習中間試験について知識の再確認を行う。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の項目を教授する。 2. 実習中間試験の正答を理解する。 3. 自身の小児歯科知識の弱点を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：実習試験の復習 準備学修時間：30分 事後学修項目：試験で不正解の項目 事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有（実習のため） 学習媒体：教科書およびプリント 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第4版、第5版」</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 その他 該当なし</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	*清水 邦彦